

論文審査結果の要旨

論文提出者	(氏名) 笠 孝 成
論文審査委員	主 査 稲 井 哲一朗 印
	副 査 田 中 芳 彦 印
	副 査 日 高 真 純 印
論 文 題 目	<i>Porphyromonas gingivalis</i> がヒト口腔粘膜上皮細胞に与える影響の 3 次元構築モデルによる解析
(論文審査結果の要旨)	
<p>歯周病原細菌 <i>P. gingivalis</i> は、口腔上皮のバリア機能に影響し歯周病の発症・進行に深く関わっていると考えられている。本研究では、ヒト口腔上皮細胞株 OKF6/TERT-2 とラット線維芽細胞からなる 3 次元構築モデルに <i>P. gingivalis</i> 菌粉砕物を滴下し、三次元構築された上皮に与える影響を DNA マイクロアレイ、q RT-PCR、免疫組織染色、細胞間電気抵抗、FITC-dextran の透過性で調べた。その結果、細胞増殖亢進、細胞間接着分子 E-cadherin の減少、細胞間透過性の亢進をきたした。申請者は本学位申請論文で、歯周病原細菌の菌粉砕物が口腔上皮のバリア機能の低下を引き起こすことを生体類似の 3 次元口腔上皮構築モデルで明確に示した。本研究は、<i>P. gingivalis</i> が口腔上皮のバリア機能の破綻を引き起こし、歯周病の発症・進行かかわる可能性を示した点で有意義な研究である。</p> <p>公開予備審査会ならびに追加の審査において、研究の背景、目的、方法、結果および考察に関して明確な説明と質疑に対する適切な回答がなされた。以上により、本申請論文は学位論文として適格であると評価された。</p>	